

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/05/19号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 米中関税引き下げで一時急伸も、戻りは売られる

NY原油先物相場は、1バレル=63.90ドルまで上昇して4月28日以来の高値を更新した後、62ドル水準まで反落する展開になった。5月12日に米中両国は関税の115%引き下げで合意した。米国の対中関税は145%から30%、中国の対米関税は125%から10%まで引き下げられることになる。初回会合でここまでの進展は想定されていなかっただけに、投資家のリスク選好性の高まりが、株価と同様に原油相場も押し上げた。しかし、トランプ米大統領がイラン核問題を巡る交渉について「合意が近い」と発言すると、利食い売り優勢の展開になった。国際エネルギー機関（IEA）が大幅な供給過剰見通しを再確認したこともネガティブ。

IEAは、世界石油需要について1~3月期は前年比で日量99万バレル増になるが、それ以上は年末まで65万バレル増に留まるとの見通しを示している。また、2025年は平均で日量72万バレル、26万は93万バレルのペースで、在庫積み増しが進むとの見通しを示した。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（5月9日時点）は、原油が前週比345万バレル増、ガソリンが102万バレル減、石油精製品が316万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

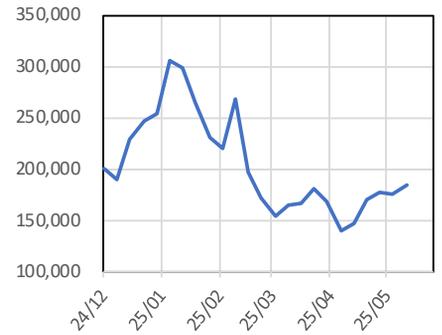
## 需給緩和見通しで戻り売り、イラン核協議には要注意

需給緩和見通しから、戻り売り優勢の展開が続く見通し。米中両国が関税引き下げで合意したことはポジティブであり、株高環境が続くと改めて直近高値のある64ドル水準を試す可能性がある。ただし、通商リスク軽減を前提にしても石油需要の伸びが鈍化するの避けられない一方、石油輸出国機構（OPEC）プラスが5月、6月と大規模な供給増に踏み切る計画に変化は見られない。供給過剰見通しの強さから、株高連動などで上昇した局面は売り場になる見通し。まだ上下双方に値動きが不安定化しやすいが、特に株価が落ちつきを見せると、需給緩和リスクの織り込みが優勢になりやすい。

米中両国が関税の大幅引き下げで合意したことはサプライズだが、それでも米国が中国を含む各国に対して高関税を課していることには変わりはない。世界経済の下振れリスクも解消される訳ではなく、米中関税引き下げ合意で原油相場の先高観が強まる訳ではない。急落一服後の安値修正の動きもあって55ドル水準から60ドル台前半まで切り返したが、徐々に上値の重さを再確認していく展開になろう。

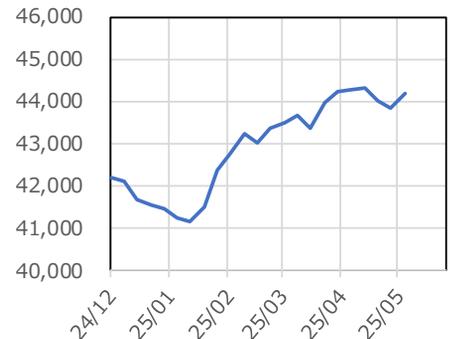
イラン核協議を巡る動きにも注目したい。4月以降、米国とイランの間では複数回の協議が行われ、米国は合意案を提示したことを明らかにした。ただし、イランはまだ提案を受け取っていないとしている。イランは制裁解除と引き換えに核兵器開発を放棄する用意があることを明らかにしているが、一方で平和利用目的の民生用核開発については放棄しないとしている。「核合意」に向かえば60ドル割れのリスクが高まる一方、交渉決裂でトランプ米大統領がイラン産原油に対する追加制裁に踏み切ると、60ドル台前半から中盤で下げ渋る可能性がある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



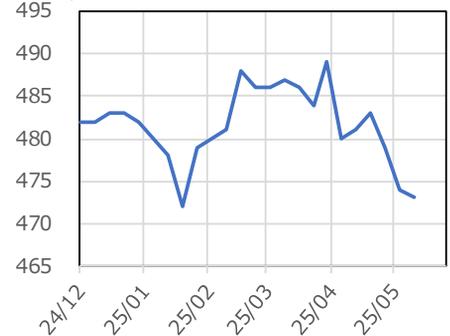
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

## 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

